独 立 役 員 届 出 書

１．基本情報

会社名	新東工業株式会社		コード	6339
提出日	2024/6/13	異動（予定）日	2024/6/21	
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会における取締役・監査役の選任議案の付議に伴い、独立役員であった「小島　俊郎」の辞任により新たな独立役員の追加のため			
☑　独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※１）				

２．独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／社外監査役	独立役員	役員の属性（※２・３）													異動内容	本人の同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし		
1	上田　良樹	社外取締役	○										△					有
2	山内　康仁	社外取締役	○										△					有
3	内永　ゆか子	社外取締役	○										△					有
4	栗原　博	社外取締役	○										△				新任	有
5	小野寺　隆実	社外監査役	○										△					有
6	伊東　健	社外監査役	○										○				新任	有
7	鹿又　一郎	社外監査役	○													○	新任	有

３．独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※４）	選任の理由（※５）
1	当社は、２０１６年６月の定時株主総会で社外取締役に選任されました上田氏が２０１６年６月まで顧問を務めていた三菱商事テクノス株式会社と取引がありますが、それぞれ直近の連結売上高に対する割合は極めて低く、１％未満であることから、主要な取引先ではないと判断しております。	上田氏は、総合商社の経営幹部および専門商社の経営者として豊富な実務経験と高い見識を有しており、社外取締役としての職務を適切に遂行、当社の経営に生かしていただけると判断したため。また、独立役員としての要件を満たし、一般株主と利益相反の生じる恐れが無いと判断したため。
2	当社は、２０１５年６月の定時株主総会で社外取締役に選任されました山内氏が２０１８年６月まで顧問を務めていたアイシン精機株式会社（現 株式会社アイシン）に機械設備等を納入しておりますが、いずれも直近の連結売上高に対する割合は極めて低く、２％未満であることから、主要な取引先ではないと判断しております。	山内氏は、自動車および自動車部品メーカーの経営者として、モノづくりに関する豊富な実務経験と高い見識を有しており、社外取締役としての職務を適切に遂行し、当社の経営に生かしていただけると判断したため。また、独立役員としての要件を満たし、一般株主と利益相反の生じる恐れが無いと判断したため。
3	当社は、２０２１年６月の定時株主総会で社外取締役に選任されました内永氏が２０１３年６月まで取締役副社長を務めていた株式会社ベネッセホールディングズ、２００７年に退職した日本アイ・ビー・エム株式会社、社外監査役を務めている日本電信電話株式会社と取引がありますが、それぞれ直近の連結売上高に対する割合は極めて低く、0.１％未満であり、主要な取引先ではないと判断しております。	内永氏は、日本アイ・ビー・エム株式会社の取締役専務執行役員および株式会社ベネッセコーポレーションの取締役副会長を歴任するなど豊富な経営経験と、情報通信技術（ＩＴ）分野における高い見識、ダイバーシティ（多様性）に対する深い造詣を有しており、社外取締役としての職務を適切に遂行し、当社の経営に活かしていただけると判断したため。また、独立役員としての要件を満たし、一般株主と利益相反の生じる恐れが無いと判断したため。
4	当社は、２０２４年６月の定時株主総会で社外取締役に選任予定の栗原博氏が２０１９年６月まで特別顧問を務めていた富士ゼロックス株式会社（現 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社）と取引がありますが、それぞれ直近の連結売上高に対する割合は極めて低く、0.１％未満であり、主要な取引先ではないと判断しております。	栗原氏は、富士ゼロックス株式会社（現 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社）の代表取締役社長および一般社団法人日本テレワーク協会の会長を歴任するなど国際的な組織を運営した豊富な経験を活かして、社外取締役としての職務を適切に遂行し、当社の経営に活かしていただけると判断したため。また、独立役員としての要件を満たし、一般株主と利益相反の生じる恐れが無いと判断したため。
5	当社は、２０２３年６月の定時株主総会で社外監査役に選任されました小野寺氏が２０１３年６月まで、株式会社東京三菱銀行（現株式会社三菱UFJ銀行）の業務執行者として勤務しておりました。当社グループの同行グループからの借入額は、当社連結総資産額の4%未満と僅少であり、社外監査役として職務を執行するうえで影響を与えるような特記すべき取引関係はありません。	小野寺氏は、金融関係業務で培った高い見識に加え、金融機関の経営に携わった豊富な経験を有しており、取締役の職務執行の監査を客観的な立場で実施していただけると判断したため。また、独立役員としての要件を満たし、一般株主と利益相反の生じる恐れがないと判断したため。
6	当社は、２０２４年６月の定時株主総会で社外取締役に選任予定の伊東健氏が現在理事兼顧問を務めている一般社団法人日本アスペン研究所と取引がありますが、それぞれ直近の連結売上高に対する割合は極めて低く、0.１％未満であり、主要な取引先ではないと判断しております。	伊東氏は、情報システム分野における豊富な経験と高い見識を有しており、取締役の職務執行の監査を客観的な立場で実施していただけると判断したため。また、独立役員としての要件を満たし、一般株主と利益相反の生じる恐れが無いと判断したため。
7	該当なし	鹿又氏は、総合電機メーカーで培った財務および会計に関する高い見識に加え、監査役としての豊富な経験を有しており、取締役の職務執行の監査を客観的な立場で実施していただけると判断したため。また、独立役員としての要件を満たし、一般株主と利益相反の生じる恐れが無いと判断したため。

４．補足説明

※１　社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。
※２　役員の属性についてのチェック項目
　a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
　b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
　c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
　d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
　e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
　f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
　g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
　h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
　i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
　j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
　k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
　l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）
　以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。
※３　本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。
　近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。
※４　a～ｌのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。
※５　独立役員の選任理由を記載してください。